

よね くら

米倉みな子

ごあいさつ

札幌市議会議員として2年目の議会活動を行っています。市民の声に寄り添い大切に市政の実現をめざします。皆様のご意見を是非お聞かせください。

米倉 みな子

市議会リポート

皆様のご意見を以下のGoogleフォームからお寄せ下さい。
(※初回) 2025.1.31)



一人ひとりが大切にされる札幌・北区をつくります



米倉みな子 プロフィール

1972年	札幌市生まれ
91年	北海道札幌藻岩高等学校卒業
93年	光塩学園女子短期大学 食物栄養科卒業
93～2013年	民間会社や、栄養士として 医療機関に勤務
21～22年	生活クラブ生活協同組合 北支部運営委員長
23年	札幌市議会議員に初当選



[現在]

1期目、札幌市議会財政市民委員、新たな都心空間調査特別委員、北区福祉を考える会代表、人権を考える北区市民の会代表、子どもの未来を考える札幌市民の会代表

子どもの歯と口腔の健康について

第1回定例会議会(2/22)

質問

札幌市では、子どものむし菌の減少が期待できるとして、小学校でのフッ化物洗口モデル事業に取り組むとしている。しかし、フッ化物洗口の効果や安全性については専門家でも意見が分かれている。安全性等に疑問が残る「フッ化物洗口」を学校で行うことは極めて慎重であるべき。健康被害が生じた時の責任の所在を明確にしておくべきと考えるが、どう取り組むのか。

答弁

保護者の同意が得られた児童のみを対象とし、健康被害の原因がフッ化物洗口と確認された場合は、市が国や道とともに対応する。

●学校など集団でフッ化物洗口を行った場合、同調圧力が働く懸念があります。子どもや保護者が安心して「やる」「やらない」を選択できるよう、丁寧に説明し、その意思を尊重すべきです。



第1回定例会議会(2/14～3/26)

2024年度札幌市一般会計および各会計予算や2023年度札幌市一般会計補正予算など議案60件が可決されました。一般会計の市債残高は、23年度末で1兆1,586億円の見込みとなり、一人当たり59万円と依然として厳しい財政状況です。

第2回定例会議会(5/17～6/4)

札幌市一般会計補正予算など議案24件、「地方自治法改正に関わる意見書」など8件、「米国の臨界前核実験に抗議する決議」1件が可決されました。

▲札幌市議会本会議場で代表質問に立つ
米倉みな子

(2024年2月22日)

「敬老優待乗車証」(敬老パス)市民参加で検討を!

■2023年11月、札幌市は高齢者への敬愛や外出支援を目的とした現「敬老パス制度」を、歩くことなどでポイントを付与する新「敬老健康パス」へと移行することを示しました。24年2月議会で、現「敬老パス制度」廃止ありきではなく市民参加で検討すべきと指摘。市は「皆さんとしっかり議論して、より良い制度設計をしていきたい」と答弁しました。

■しかし、その後、幅広い世代の市民との意見交換など市民参加のプロセスがないまま、9月、市は修正案を提示しました。パブリックコメントを募集するとしていますが、当初案を大幅に変更しており、改めて市民への説明が必要です。

■市民ネットワークが行ったアンケートでは「高齢者のほとんどは、現金しか使えずポイント活に無縁」「健康でない高齢者は切り捨てられる感がある」などの意見が寄せられています。

■少子高齢社会における持続可能なまちづくりは、全世代で取り組むべき課題です。「敬老パス制度」については、高齢者はもとより若者も含めて幅広い年代や立場の方が参加し、丁寧に検討をすすめるべきです。